

## 三村敏之氏に町民栄誉賞を付与することを求める決議

11月3日死去された元広島東洋カープ監督の三村敏之氏は、海田小学校、海田中学校、広島商業高校を経て、1966年ドラフト2位で当時の広島カープに入団。1970年より遊撃手のレギュラーとなりバントやヒットエンドラン等の堅実なプレーで1975年のチーム初優勝に貢献した。

1977年から2年間は不振であったが、1979年に復活してカムバック賞を受賞するとともに2年連続の日本一に貢献した。

現役時代はベストナインに3回、オールスターゲーム出場4回、1,000試合連続試合出場など数々の功績を残し1983年に引退。

引退後は、1984年から90年まで一軍、二軍コーチを経て91年から93年二軍監督、94年からは一軍監督としてチームを4年連続Aクラスに導くなど、98年に引退するまで若手を積極的に起用するなどの卓越した指導力を発揮した。

また、その後もテレビの野球解説者や大学の客員教授、一軍ヘッドコーチなど多方面で活躍され2008年より東北楽天チームの統括本部編成部長として勤務、次の監督候補として期待されていたが体調を崩し11月3日に61歳で死去。

以上述べてきたように彼の功績はすばらしいものであり、町民の誇りであることは誰もが認めるところであります。

将来にわたって野球界、郷土、海田町に貢献していただけると期待していただけに、突然の訃報は残念としか言えません。

以上のことを踏まえ、町民栄誉賞を創設し、三村敏之氏にこれを付与されるよう、町議会として強く求めるものである。

以上決議する。

平成21年12月18日

広島県海田町議会